

シンポジウム「価値観の創造 ～21世紀を担う経営/産業/社会～」

コロナ禍により、社会における経営や事業、生き方等の価値観が変化し、それが価値の創造を目指すビジネスにも重大な影響を与えています。我々は、新たな価値観の創造が新たな価値の創造を導くことを、今、目の当たりにしているのです。

本シンポジウムは、価値創造や価値最大化といった日常の議論を超え、価値と価値観についての基調講演と価値観創造についての先駆的実務家と論客によるパネルディスカッションを通じて、「価値観世紀」の経営・産業・社会の在り方について考えます。

本シンポジウムは、皆様の価値創造に繋がるヒントを提供していきます。

主催 産業技術総合研究所人工知能技術コンソーシアム (AITeC)

共催 大阪商工会議所 人工知能ビジネス研究会

日時 2022年2月7日(月) オンライン開催 開演14:30~16:30

お申込み <https://aitconsortium.doorkeeper.jp/events/131338>

参加方法 無料 2月3日までのエントリーで、どなたでも参加可能

内容

1. 基調講演 『価値創造から価値観創造へ バリューデザインのすゝめ』
穂積 融 (バリューデザイナー)
2. ミニ講座 『価値観を実現する計算モデルとしての価値構造モデル』
山下 和也 (産総研人工知能研究センター)
3. パネルディスカッション 『価値観の創造 経営、産業、社会の在り方』
 玉木 直季 (英国王立国際問題研究所客員研究員)
 穂積 融 (バリューデザイナー)
 柳川 範之 (東京大学大学院経済学研究科教授)
 吉田 真太 (ラッセル・マインド フルネス・エンターテインメント株式会社 共同創業者 取締役)
 ※ファシリテーション 本村 陽一 (産総研AITeC会長)

4. Q&A

価値創造から価値観創造へ バリューデザインのすゝめ



市場では、価値は客のニーズにモノ・サービスがフィットしたときに生まれます。しかし、現代の産業の力はこうしたニーズを瞬時に満たしてしまうため、モノやサービスは売れ残り、結果我が国は低成長に直面しています。

我々は、このような低成長から脱すべきなのか、そうだとしたらどのようにすれば良いのか？ そうでないとしたらどのような社会の在り方があるのか？ いま世界で起きていること、これから起きること、そのために今何が必要かを提言します。

これからのビジネスの在り方、社会の在り方を検討する立場にある方、日々のビジネスやイノベーション活動に追い立てられ答えが見えない方、ぜひご参加ください。AITeC一同お待ちしております。

パネリスト（五十音順）・ファシリテーター紹介



玉木 直季（英国王立国際問題研究所客員研究員）

慶應大学（経）卒業。カイロアメリカン大学留学、ロンドンビジネススクール修了。東京銀行（現三菱UFJ銀行）および国際協力銀行で名古屋、東京、カイロ、バハレーン、ドバイに勤務。今はロンドンの王立国際問題研究所にて日本的発想による循環型社会のあり方を追求中。4大文明中3つが存在した中東で暮らすこと12年、今の資本主義が掲げる物質的豊かさや経済的発展ではなく精神的「豊かさ」の実現を追求する開発金融のスペシャリスト。元ラクロス日本代表。



穂積 融（バリューデザイナー）

国の価値観をデザインして世に問うことを仕事にしたいと中央省庁に入省。日本の価値軸を創造する「アートとしての行政」を標榜し、内閣官房等で国家ビジョン、国家戦略、国家計画等の原案を執筆、我が国の目指すべき社会像を提言。現在、バリューデザイナーとして、夢や欲望等個人の人間性を主役にするリ・ルネサンス組織、リ・ルネサンス社会を目指し、企業戦略立案助言や人材育成を行う。学生時代は法哲学・経営学を専攻、首席で学位取得。



柳川 範之（東京大学大学院経済学研究科教授）

中学卒業後、父親の海外勤務でブラジルへ。ブラジルでは高校にいかず独学生活を送る。大検を受けたのち慶應大学通信教育課程卒業、1993年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士（東京大学）。慶応大学専任講師、東京大学助教授等を経て、2011年より現職。新しい資本主義実現会議有識者構成員、内閣府経済財政諮問会議民間議員等。『東大教授が教える独学勉強法』草思社、『法と企業行動の経済分析』日本経済新聞社等。



吉田 真太（ラッセル・マインドフルネス・エンターテインメント株式会社 共同創業者 取締役）

伊藤忠商事株式会社、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社を経て、エイベックス株式会社にてコーポレート執行役員、アジア法人代表取締役社長等を歴任し、当社を共同創業。マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院修了、マサチューセッツ大学医学部マインドフルネス・センター「マインドフルネス・ツールズ」修了、慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所修了、慶應義塾大学卒業。二児の父。



本村 陽一（産業技術総合研究所人工知能研究センター首席研究員 / AITeC会長、博士（工学））

産総研サービス工学研究センター副研究センター長、人工知能研究センター副研究センター長などを経て2016年より現職。東京工業大学特定教授、神戸大学客員教授、人工知能技術コンソーシアム会長を兼務。IPA未踏ソフトスーパークリエーター、AIベンチャーCTO、人工知能学会理事、サービス学会理事、行動計量学会理事なども歴任。



日時：2022年2月7日(月) オンライン開催 開演14:30~16:30

お申込みURL：<https://aitconsortium.doorkeeper.jp/events/131338>

参加方法：無料。2月3日までのエントリーで、どなたでも参加可能